

2022年度FOCUSスパコン 利用約款、利用料金表、利用細則 (ポリシー改) 説明資料

2022.01.31 FOCUS 運用グループ

- I. 利用約款
- II. 利用料金表
- III. 利用細則 (ポリシー改)

FOCUSスパコン利用にかかる
2021年度から2022年度への変更点をまとめた資料です

- I. 2022年度FOCUSスパコン利用契約約款 (案)
- II. 2022年度FOCUSスパコン利用料金体系 (案)
- III. 2022年度FOCUSスパコン計算資源利用細則 (案)

なお、理事会等により一部変更になる可能性がございます。予めご了承ください。

I. 利用約款

【変更点】

- ・ 料金表に付随する資料を「ポリシー」から「利用細則」へ変更
- ・ 申請書の原本送付を不要に変更
- ・ 提出書類の見直し

2022年度	2021年度
<p>(サービス)</p> <p>第9条 FOCUSスパコン利用サービスにおいて提供するサービスは次のとおり構成される。</p> <p>(1) 提供計算資源の使用許諾 (2~10 略)</p> <p>2 前項第1号の使用許諾については、別に定めるFOCUSスパコン計算資源利用細則に基づきサービスを提供する。 (以下略)</p> <p>(利用申請)</p> <p>第15条 FOCUSスパコン利用サービスの利用申請は、財団所定の申請書又は財団のホームページに表示する申請書(以下、併せて「申請書」という)に必要事項を記入の上、当該申請書を財団に提出することにより行うものとする。</p> <p>2~4 (略)</p> <p>5 財団は、前項の証明書として有効なものを以下のとおりと定める。</p> <p>(1) 運転免許証</p> <p>(2) 旅券</p> <p>(3) 顔写真付き住民基本台帳カード</p> <p>(4) マイナンバーカード(顔写真付きの表面のみ。個人番号通知カードは不可)</p> <p>(5) 在留カード</p> <p>(6) その他財団が認めるもの</p> <p>(附 則) この約款は、平成23年4月1日から施行する。 (中略) この約款の変更は、令和3年4月1日から施行する。 この約款の変更は、令和4年4月1日から施行する。</p>	<p>(サービス)</p> <p>第9条 FOCUSスパコン利用サービスにおいて提供するサービスは次のとおり構成される。</p> <p>(1) 提供計算資源の使用許諾 (2~10 略)</p> <p>2 前項第1号の使用許諾のうち、日単位、月単位及び年度単位の期間占有利用については、別に定めるポリシーに基づきサービスを提供する。 (以下略)</p> <p>(利用申請)</p> <p>第15条 FOCUSスパコン利用サービスの利用申請は、財団所定の申請書又は財団のホームページに表示する申請画面を印字した用紙(以下、併せて「申請書」という)に必要事項を記入の上、当該申請書を財団に提出することにより行うものとする。</p> <p>2~4 (略)</p> <p>5 財団は、前項の証明書として有効なものを以下のとおりと定める。</p> <p>(1) 運転免許証</p> <p>(2) 旅券</p> <p>(3) 住民基本台帳カード(ただし、個人番号通知カード及びマイナンバーカードは除く)</p> <p>(4) 在留カード</p> <p>(5) その他財団が認めるもの</p> <p>(附 則) この約款は、平成23年4月1日から施行する。 (中略) この約款の変更は、令和3年4月1日から施行する。</p>

II. 利用料金表

2022年4月1日

【変更点】 全体

- レイアウト変更
単位を表内に記載

2022年度FOCUSスパコン利用料金表

公益財団法人計算科学振興財団スーパーコンピュータシステム利用契約約款第23条に基づく、
利用料金表を以下のとおり定める。

本表の金額は、消費税抜きの価格とする。

1. アカウント

項目	金額	単位
アカウント利用	10,000円	従事者1名・年度

2. 共用計算資源の従量利用 初年度特典 無料枠対象

項目	ノード数	金額	単位
Aシステム	1~8ノード	75円	1ノード・時間
	9~12ノード	1ノード増につき5円減額	
	13ノード以上	50円	
Bシステム	1ノード以上	100円	
Fシステム (GPU非搭載)	1ノード	375円	
	2~18ノード	1ノード増につき10円減額	
	19ノード以上	200円	
Fシステム (GPU搭載)	1ノード以上	375円	
Hシステム	1ノード	75円	
	2~5ノード	1ノード増につき5円減額	
	6ノード以上	50円	
Qシステム	1ノード以上	600円	
Vシステム	1ノード以上	300円	
Wシステム	1ノード以上	600円	
Xシステム	1ノード以上	100円	
Zシステム	1ノード	375円	
	2~18ノード	1ノード増につき10円減額	
	19ノード以上	200円	

【変更点】 2. 共用計算資源の従量利用

- Qシステム従量利用提供開始

【変更点】 3. 共用計算資源の期間占有

・ 申請締切の短縮

日/月/年度単位 2業務日前13時

・ 日単位：

利用終了日の制限 休日前日の指定不可

申請受付 7ノード・日以上から受付

・ 月/年度単位：

期間占有基本料の導入
フロントエンド必須としない

・ 年度単位：

申請受付 4月末にて終了

・ Wシステム月単位提供廃止

・ Zシステム年度単位提供開始

3. 共用計算資源の期間占有利用

・ 申請締切：利用開始日2業務日前の13時（推奨：利用開始日6業務日前の13時）

・ 利用開始日：業務日に限る（土・日・祝日・年末年始およびメンテナンス期間を除く）

・ 利用終了日：休日前日の指定は不可とする（休日：土・日・祝日・年末年始）

・ 利用料：月および年度単位の占有には期間占有基本料を請求

実利用時間に関わらず、期間占有分を請求

期間の途中からの利用でも、期間分の全額請求

【日単位】

項目	ノード数	金額	単位
Aシステム	1～8ノード	1,800円	1ノード・日
	9～12ノード	1ノード増につき120円減額	
	13ノード以上	1,200円	
Bシステム	1ノード以上	2,400円	
Fシステム (GPU非搭載)	1ノード	9,000円	
	2～18ノード	1ノード増につき240円減額	
	19ノード以上	4,800円	
Fシステム (GPU搭載)	1ノード以上	9,000円	
Hシステム	1ノード	1,800円	
	2～5ノード	1ノード増につき120円減額	
	6ノード以上	1,200円	
Vシステム	1ノード以上	7,200円	
Wシステム	1ノード以上	14,400円	
Xシステム	1ノード以上	2,400円	

・ 利用単位：利用当日10時から翌日10時までの24時間

・ 申請受付：7ノード・日以上から受付

【月単位】

項目	金額	単位
期間占有基本料 (月単位)	30,000円	課題・月

・ 専用フロントエンド(Light)：利用希望課題に無償提供（提供台数制限あり）

項目	金額	単位
Aシステム	27,000円	1ノード・月
Bシステム	50,000円	
Fシステム (GPU非搭載)	144,000円	
Fシステム (GPU搭載)	150,000円	
Hシステム	30,000円	
Vシステム	132,000円	
Xシステム	57,600円	
Zシステム	216,000円	

・ 利用単位：利用開始日もしくは利用当月の1日10時から次月1日10時まで

【年度単位】

項目	金額	単位
期間占有基本料 (年度単位)	300,000円	課題・年度

・ 専用フロントエンド(Light)：利用希望課題に無償提供（提供台数制限あり）

項目	金額	単位
Aシステム	200,000円	1ノード・年度
Fシステム (GPU非搭載)	1,200,000円	
Fシステム (GPU搭載)	1,500,000円	
Hシステム	240,000円	
Zシステム	1,944,000円	

・ 利用単位：利用開始日から当該年度末日まで

・ 年度申請受付期間：4月末まで

【変更点】 4. ストレージ

・ 申請締切の短縮

1業務日前13時

・ 年度単位：

申請受付 9月末にて終了

【変更点】 5. フロントエンドサーバ

・ 申請締切の短縮

日/月/年度単位 2業務日前9時

・ 年度単位：

申請受付 4月末にて終了

(2022年度 新規Thin(仮) 追加提供の予定)

4. ストレージ

項目	金額	単位
ホーム領域 (/home1)	無償	1課題につき200GB※1
ホーム兼ワーク領域 (/home3)	300円	10GB・月
	2,000円	10GB・年度

・ ※1 容量拡大不可

・ 期間の途中からの利用でも、期間分の全額課金

・ 申請締切：利用開始/容量変更日1業務日前の13時

・ 年度申請受付期間：9月末まで

5. フロントエンドサーバ

項目	金額	単位
共用フロントエンドサーバ	無償	
専用フロントエンドサーバ(Light) CPU:2.26GHz 12コア,RAM:48GB,HDD: 500GB	2,500円	1台・日
	30,000円	1台・月
	300,000円	1台・年度

・ 課題あたり上限1台

・ 申請締切：利用開始日2業務日前の午前9時

・ 開始日/終了日/課金/利用単位/年度申請受付期間は「3.共用計算資源の期間占有利用」と同じ

6. ソフトウェア

項目	利用形態	金額	単位
MIZUHO/BioStation	従量利用	80円	1ノード・時間相当
Gaussian 09/16	従量利用	120円	1ノード・時間相当
	定額利用 (利用無制限)	500,000円	月
		1,200,000円	3か月(最終1月開始)
		1,800,000円	6か月(最終10月開始)
		3,000,000円	年度

・ 従量利用のノード時間相当は、CPU時間合計/ノードあたりコア数を秒単位で計算

・ 定額利用(利用無制限)は、期間の途中からの利用でも、期間分の全額課金

【変更点】 7. 機器持込

・ 料金区分の見直し

サーバ（ラック搭載・占有領域）10U・月
区画(10U)使用料および機器持込料の区分を廃止

・ 新規区画の導入

サーバ（ラック搭載・共用領域）10U・年度

【変更点】 8.貸出ストレージ

・ 20TB, 32TB 提供終了

(2022年度 4TB SSD 追加提供の予定)

7. 機器持込み

【計算機室への機器持込み（占有利用）】

項目	金額	単位
サーバ（ベDESTAL）	15,000円	1台・月
サーバ（ラック搭載・共用領域）	50,000円	1U・月
サーバ（ラック搭載・占有領域）	30,000円	10U・月
サーバ（ラック搭載・共用領域）※2	760,800円	10U・年度
電力追加	14,400円	1kW・月

- ・消費電力1kWまで。超過する場合は1kW単位「電力追加」費用負担
- ・ネットワーク接続料別途必要
- ・申請締切：利用開始日5営業日前の9時
- ・※2 重量 200kgまで、消費電力 3kWまで（追加不可）

【計算機室へのネットワーク接続（共用ベストエフォート）】

項目	金額	単位
1000BASE-T 接続	5,000円	1ポート・月
10GBASE-T 接続	10,000円	
10GBASE-SR 接続	10,000円	
10GBASE-LR 接続	10,000円	

- ・ラックからネットワーク接続ポートまでの配線工事費は実費負担

8. 貸出ストレージ

項目	金額	単位
物理容量 6TB	500円	1台・日

- ・発送費用は、利用者の負担(発着とも)
- ・終了日までに返却又は発送しない場合、終了日翌日以降の利用料金は3倍
- ・申請締切：利用開始日2営業日前の9時（配送による受渡の場合は5営業日前の午前9時）

項目	金額	単位
データ/ストレージ配送サービス	20,000円	1作業

- ・貸出ストレージ(6TB)のみ対応
- ・作業内容：ストレージのマウント/アンマウント、発送作業
- ・申請締切：利用開始日2営業日前の9時

【変更点】 9.施設

- **端末利用室 申請締切の短縮**
2業務日前13時

【変更点】 11.その他

- **SkeedSilverBullet 申請締切の短縮**
1業務日前13時

9. 施設

項目	金額	単位
端末利用室	10,000円	1室・日

・ 1課題 月あたり1室・1日無償

・ 申請締切：利用開始日2業務日前の13時

10. 利用料前払

項目	金額	単位
利用料前払	100,000円	1口

・ 随時受付、入金日の当月利用分から適用

・ 年度繰越(翌年度末まで)可能

・ 返金不可

・ 適用範囲は、本料金表に記載の項目

11. その他

項目	金額	単位
インターネット高速ファイル転送サーバ	無償	ユーザ

・ 申請締切：利用開始日1業務日前の13時

III. 利用細則 (ポリシー改)

【変更点】

- ・ 計算資源提供についての規則を定めた資料は「FOCUSスパコンシステム期間占有ポリシー」から「FOCUSスパコン計算資源利用細則」に変更
- ・ 料金表に記載されていない内容（申請方法、占有上限値やキャンセルポリシー等）を記載

2022年4月1日

2022年度 FOCUS スパコン計算資源利用細則

公益財団法人計算科学振興財団スーパーコンピュータシステム利用契約約款第9条第2項に定める利用細則は、以下のとおりとする。

各利用形態の料金は「FOCUS スパコン利用料金表」(<http://www.j-focus.or.jp/focus/fee.html>)に定めるとおりとする。

提供する資源数、1課題あたり占有可能な上限、キャンセルポリシーは各々、【表1,2,3】に定めるとおりとする。

0. 申請窓口
1. アカウント
2. 共用計算資源の従量利用
3. 共用計算資源の期間占有利用
4. ストレージ
5. フロントエンドサーバ
6. ソフトウェア
7. 機器持込
8. 貸出ストレージ
9. 施設
10. 利用料前払
11. その他

【表1】 期間占有提供量

【表2】 課題あたりの占有上限

【表3】 キャンセルポリシー

【別紙1】 申請の定義

【変更点】 0. 申請窓口を明記

0. 申請窓口

以下の申請窓口を設定する。資源毎に申請窓口が異なる。|

1. ポータルサイト

「FOCUS スパコン利用者ポータルサイト」(<https://portal.j-focus.jp/>)

上記サイトへのアクセスが困難な場合は以下の OKBIZ. もしくはメールからの連絡も可とする。

2. OKBIZ.

「FOCUS スパコンお問合せ窓口」(<https://secure.okbiz.okwave.jp/focus-helpdesk/>)

3. メール

運用グループ unyo@j-focus.or.jp

【変更点】 全体

・料金表に沿って項目を記載

料金表に記載のない情報（申請窓口等）を追記

1. アカウント

- ・申請窓口：メール（申請書を添付）
- ・申請内容変更の申請窓口：メール（「課題 ID」を連絡、運用グループから変更申請書を送付）
- ・利用単位：年度初めもしくは利用開始日から年度末まで
- ・請求：利用開始月

2. 共用計算資源の従量利用

- ・申請不要
- ・利用料：ジョブ毎に実行時間を秒単位で計算（請求時、小数切捨）
利用料 = ノード・時間あたり単価×実行ノード数×実行時間(秒)/ 3600
例：A システム 2 ノード（ノード単価 75 円） 15 分 20 秒 実行した場合、38 円
(75円×2 ノード×920 秒/3600=38.33333 = 38 円)
- ・初年度特典無料枠の対象

【変更点】申請方法の見直し

- ・ 申請書/利用承認通知書を廃止。ポータルサイトからの申請を推奨
- ・ 年度単位申請の受付締切の設定

計算資源/フロントエンド 4月末、 home3 9月末

資源	単位期間	2022年度	2021年度
3. 共用計算資源の占有	日単位	ポータルサイト	ポータルサイト
	月単位	ポータルサイト	占有申請書
	年度単位	ポータルサイト(4月末受付終了)	占有申請書
4. home3	月単位	ポータルサイト	OKBIZ.
	年度単位	ポータルサイト(9月末受付終了)	
5. フロントエンド	日単位	ポータルサイト	ポータルサイト
	月単位	ポータルサイト	占有申請書
	年度単位	ポータルサイト(4月末受付終了)	占有申請書
7. 機器持込	月/単位	ポータルサイト (誓約書等必要書類別途メール送付)	機器持込申請書
	年度単位	ポータルサイト (誓約書等必要書類別途メール送付)	---
8. 貸出ストレージ	日単位	ポータルサイト	ポータルサイト
9. 端末利用室	日単位	ポータルサイト	ポータルサイト
10. 利用料前払	---	メール (課題ID,口数,振込予定日を連絡。 連絡後、別途請求書送付)	前払申請書
11. SkeedSilverBullet	日単位	ポータルサイト	ポータルサイト

【参考資料】
(改修中) ポータルサイト申請画面 (月占有)

新規予約

課題ID **【必須】**

XXX

対象 **【必須】**

Aシステム

利用単位 **【必須】**

日単位 月単位

数量 **【必須】**

開始月 **【必須】**

選択してください

年度占有をご希望の場合は終了月は「3月」を選択し、
メモに「年度占有」と記載してください。

終了月 **【必須】**

選択してください

予約連絡先メールアドレス

メモ

新規予約

戻る

【変更点】申請締切の見直し（短縮）

これまで締切後申請いただいた場合も、都度作業時間検討して受付可能な申請はできうる限り実施してきましたが、締切日時を見直し、受付可能なギリギリの締切を設定しました。

このため、2022年度以後は締切期日を過ぎた申請は一律受付不可とします。

また、確実に資源確保するためには早めの申請をお願いします。

(利用状況により、ご希望どおりとならない場合があります。その場合、開始日や資源数等を調整(協議)します)

資源	単位期間	2022年度	2021年度
3. 共用計算資源の占有	日単位		2業務日前 9時
	月単位	2業務日前 13時 (推奨：6業務日13時)	5業務日前 9時
	年度単位		5業務日前 9時
4. home3	月単位	1業務日前 13時	2業務日前 9時
	年度単位		
5. フロントエンド	日単位		2業務日前 9時
	月単位	2業務日前 9時	5業務日前 9時
	年度単位		5業務日前 9時
7. 機器持込	月/単位	5業務日前 9時	5業務日前 9時
	年度単位	5業務日前 9時	-----
8. 貸出ストレージ	日単位	2業務日前 9時 (配送の場合は5業務日前9時)	2業務日前 9時 (配送の場合は5業務日前9時)
9. 端末利用室	日単位	2業務日前 13時	2業務日前 9時
11. SkeedSilverBullet	日単位	1業務日前 13時	2業務日前 9時

【変更点】 3. 共用計算資源の期間占有

・ 共用計算資源 月/年度単位占有

- ・ 専用フロントエンド契約は必須としない
- ・ 期間占有基本料の導入
月：3万円/月、年度：30万円、いずれも課題単位
- ・ 1課題あたり専用フロントエンド(Light)を希望課題に無償提供する(ただし、台数に限りあり)
- ・ 月/年度単位を併用して占有する場合、占有資源数の総数は月上限数を越えないものとする
(例：1課題あたりの上限 Fsys 月30、年度20 のため、年度20契約の場合、追加で月10が最大契約可能数)
- ・ 年度占有の契約受付は4月末まで

・ 共用計算資源 日単位占有

- ・ 利用終了日の制限（休日前日終了は選択不可）
- ・ 7ノード・日 以上から受付

3. 共用計算資源の期間占有利用

- ・ 申請窓口：ポータルサイト
- ・ 申請締切：利用開始日の2業務日前13時（推奨：利用開始日の6業務日前13時）
- ・ 期間占有基本料（月、年度単位）：課題ごと（年度占有も契約している場合、月単位は不要）
専用フロントエンド(Light)を希望課題に無償提供(提供台数制限あり。課題あたりの提供上限【表2】に含む)。申請時に利用希望の旨を記載。
- ・ 利用料：実利用時間に関わらず、期間占有分を請求
利用料 = ノード・期間あたり単価×ノード数×期間
期間の途中からの利用でも、期間分の全額請求

【日単位】

- ・ 利用単位：利用当日10時から翌日10時までの24時間
- ・ 利用開始日：業務日に限る（土・日・祝日・年末年始およびメンテナンス期間を除く）
- ・ 利用終了日：休日前日の指定は不可とする（休日：土・日・祝日・年末年始）
- ・ 請求：月毎に請求（月をまたぐ期間の場合は各月の利用分に分けて請求）
例：5/30～6/3(5日間)利用の場合 5月利用2日間、6月利用3日間での請求

- ・ 申請受付：7ノード・日以上 例：1ノードの場合7日間以上、3ノードの場合3日間以上

【月単位】

- ・ 利用単位：利用当月1日（もしくは利用開始日）10時から翌月1日10時まで
- ・ 利用開始日：業務日に限る（土・日・祝日・年末年始およびメンテナンス期間を除く）
- ・ 請求：期間占有基本料と利用料を月毎に請求（月をまたぐ場合は各月の利用分に分けて請求）
例：5,6月(2か月間)利用の場合 5月、6月に各月分請求

【年度単位】

- ・ 利用単位：4月1日（もしくは利用開始日）10時から当該年度末日まで
- ・ 利用開始日：業務日に限る（土・日・祝日・年末年始およびメンテナンス期間を除く）
- ・ 請求：期間占有基本料と利用料を利用開始月に一括請求
期間途中からの利用でも、全額請求

- ・ 申請受付：4月末まで

【変更点】 占有提供数の見直し

- ・ 占有提供数を縮小し、従量利用量を拡大
- ・ home3
提供量を設定(450TB)
- ・ 機器持込
提供量を設定
- ・ 貸出ストレージ
20TB, 32TB提供終了

【表 1】 期間占有提供量

期間占有資源の提供量は以下のとおり。

(--- : 提供なし)

項目	総提供総数	日単位	月単位	年度単位
3. 共用計算資源の期間占有利用 (単位 : ノード)				
A システム	120	120	80	60
B システム	2	2	2	---
F システム (GPU 非搭載)	44	44	30	20
F システム (GPU 搭載)	2	2	2	1
H システム	110	110	75	55
V システム	2	2	2	---
W システム	1	1	---	---
X システム	4	4	4	---
Z システム	16	---	16	8
4. ストレージ (単位 : 10GB)				
ホーム兼ワーク領域(/home3)	45,000	---	45,000	45,000
5. 専用フロントエンドサーバ (単位 : 台)				
Light	12	4	12	12
7. 機器持込 (単位 : 区画)				
サーバ(ベデスタル)	6	---	6	---
サーバ(ラック搭載・共用領域 1U)	10	---	10	---
サーバ(ラック搭載・占有領域 10U)	4	---	4	---
サーバ(ラック搭載・共用領域 10U)	4	---	---	4
8. 貸出ストレージ (単位 : 台)				
物理容量 6TB	4	4	---	---
9. 施設 (単位 : 室)				
端末利用室	1	1	---	---
11. その他				
インターネット高速ファイル転送サーバ (単位 : ユーザ)	75	75	---	---

・ 随時占有可能な資源数は

「予約状況カレンダー」(https://www.j-focus.jp/reservation_cal/) に掲載する。

【変更点】1課題あたり上限の見直し

・課題あたりの占有上限値を縮小し、寡占状態を回避

- ・日、月、年度単位にて占有上限を縮小
- ・月、年度単位を併用して占有する場合、資源数の総数は月占有上限を超えないこととする
- ・専用フロントエンドは 上限1台/課題
(期間占有基本料のオプション提供分含む)

・home3 上限設定

・申請回数の見直し

- ・1課題あたりの申請回数を制限

【表 2】課題あたりの占有上限

1 課題あたりの占有利用の上限は以下のとおり。上限を超えての占有はできない。

(--- : 提供なし)

項目	期間	1 課題あたりの占有上限			申請回数 ^{*1} 上限 (月あたり)
		日単位	月単位 ^{*2}	年度単位 ^{*2}	
3. 共用計算資源の期間占有利用					
	(単位)	ノード・日 (月あたり)	ノード	ノード	
A システム	上半期	1,860	80	60	10 回
	下半期	930			
B システム	通年	31	2	---	
F システム (GPU 非搭載)	上半期	682	30	20	
	下半期	341			
F システム (GPU 搭載)	上半期	31	2	1	
	下半期	16			
H システム	上半期	1,705	75	55	
	下半期	856			
V システム	上半期	31	2	---	
	下半期	16			
W システム	通年	16	---	---	
X システム	上半期	62	4	---	
	下半期	31			
Z システム	通年	---	8	4	
4. ストレージ (単位 : 10GB)					
ホーム兼ワーク領域(/home3)	通年	---	10,000	4 回	
5. 専用フロントエンドサーバ (単位 : 台)					
Light	通年		1 ^{*3}	4 回	
7. 機器持込 (単位 : 区画)					
サーバ(ベデスタル)	通年	---	6	---	4 回
サーバ(ラック搭載・共用領域 1U)	通年	---	10	---	4 回
サーバ(ラック搭載・占有領域 10U)	通年	---	4	---	4 回
サーバ(ラック搭載・共用領域 10U)	通年	---	---	4	4 回
8. 貸出ストレージ (単位 : 台)					
物理容量 6TB	通年	なし	---	---	なし
9. 施設 (単位 : 室)					
端末利用室	通年	なし	---	---	なし
11. その他					
インターネット高速ファイル転送 サーバ (単位 : ユーザ)	通年	1(ユーザあたり)	---	---	なし

*1 申請回数のカウント方法は【別紙 1】「申請の定義」に記載

キャンセルした場合も、占有資源量、申請回数としてカウントする

申請回数のカウントは利用開始日を基準とする (例 : 5/30~6/3 の利用申請は 5 月としてカウント)

*2 月、年度単位を併用して占有する場合、資源数の総数は月占有上限を超えないこととする

*3 期間占有基本料のオプションにより提供する専用フロントエンド台数を含む

・上限を超える占有利用や大規模並列化の検証等をご希望の場合は OKBIZ、もしくはメールでご相談ください

【変更点】 キャンセルポリシーの見直し

- ・ 計算資源 月/年度
キャンセル時期/占有数に
応じたキャンセル料を設定
- ・ 機器持込
キャンセルポリシーを設定
- ・ 期間占有基本料
事前キャンセルした申請に対しては課さない

【表3】 キャンセルポリシー

キャンセル料金は占有数、キャンセル時期、利用形態(日/月/年度)に応じて以下のとおり。
(---: キャンセル料の設定なし)

項目	占有数	キャンセル時期(利用開始日)		
		日単位		
		申請後 10 業務日前 9 時まで	10 業務日前 9 時から 4 業務日前 9 時まで	4 業務日前 9 時 以降
		月/年度単位		
		申請後 30 業務日前 9 時まで	30 業務日前 9 時から 12 業務日前 9 時まで	12 業務日前 9 時 以降
3. 共用計算資源の期間占有利用 (単位: ノード)				
A システム	1~32	---	---	100%
	33~96	---	50%	100%
	97 以上	25%	50%	100%
B システム	1 以上	---	---	100%
F システム(GPU 非搭載)	1~15	---	---	100%
	16~30	---	50%	100%
	31 以上	25%	50%	100%
F システム(GPU 搭載)	1 以上	---	---	100%
H システム	1~34	---	---	100%
	35~68	---	50%	100%
	69 以上	25%	50%	100%
V システム	1 以上	---	---	100%
W システム	1 以上	---	---	100%
X システム	1 以上	---	---	100%
Z システム	1 以上	---	---	100%
4. ストレージ (単位: 10GB)				
ホーム兼ワーク領域 (/home3)	---	---	---	---
5. 専用フロントエンドサーバ (単位: 台)				
Light	1	---	---	100%
7. 機器持込 (単位: 区画)				
サーバ(ベダスタル)	1 以上	---	---	100%
サーバ(ラック搭載・共用領域 1U)	1 以上	---	---	100%
サーバ(ラック搭載・占有領域 10U)	1 以上	---	---	100%
サーバ(ラック搭載・共用領域 10U)	1 以上	---	---	100%
8. 貸出ストレージ (単位: 台)				
物理容量 6TB	1 以上	---	---	100%
9. 施設 (単位: 室)				
端末利用室	1	1 業務日前 9 時以降		100%
11. その他				
インターネット高速ファイル転送 サーバ (単位: ユーザ)	1	---	---	---

・ 3. 共用計算資源の期間占有利用 (月、年度単位) において、申請が事前にキャンセルされた場合、該当する期間占有基本料は発生しないものとする

【変更点】 申請を定義

【別紙 1】 申請の定義

占有利用の申請数は 占有資源・数量・期間(日/月/年度単位) の組を 1 申請とする。

例 1 : A システム・10 ノード・5/10~5/31 =1 申請

例 2 : 以下を分けて申請した場合 (専用キューが継続利用であっても、別申請として取り扱う)

A システム・10 ノード・5/10~5/14(日単位) =1 申請

A システム・10 ノード・5/15~5/30(日単位) =1 申請^{※1}

例 3 : 以下を同時にメール等で連絡した場合 (以下の場合 3 申請となる)

・ A システム・10 ノード・6 月(月単位) =1 申請

・ F システム・8 ノード・7 月(月単位) =1 申請

・ フロントエンド Light・1 台・7-12 月(月単位) =1 申請

例 4 : 申請をキャンセルし、再度同じ内容の申請をした場合 (以下の場合 2 申請となる)

(キャンセルした場合も、1 申請としてカウントする)

・ A システム・10 ノード・5/10~5/14(日単位) =1 申請

これをキャンセルし、再度申請

・ A システム・10 ノード・5/10~5/14(日単位) =1 申請

例 5 : 別途ノードを追加した場合

・ A システム・10 ノード・5/10~5/14(日単位) =1 申請

同じ期間でノード数を追加するため (合計 30 ノード) 以下を追加申請

・ A システム・20 ノード・5/10~5/14(日単位) =1 申請^{※1}

例 6 : 申請した占有数を利用期間内に減らす

・ A システム・10 ノード・5-8 月(月単位) =1 申請

7 月以降 2 ノード減らし、8 ノードの契約としたい。

利用がすでに始まっている場合はキャンセルポリシー (表 3) に従い、100%のキャンセル料が発生する。

利用前の場合はキャンセルポリシーに従い、一旦キャンセルし、以下を改めて申請する。

・ A システム・10 ノード・5-6 月(月単位) =1 申請

・ A システム・8 ノード・7-8 月(月単位) =1 申請^{※1}

この場合の申請数は、キャンセルしたものと合わせて 3 申請となる。

例 7 : 申請した占有数を利用期間内に増やす (増加分を追加申請する)

・ A システム・8 ノード・7-8 月(月単位) =1 申請

8/20-31 に追加 2 ノード (合計 10 ノード) 利用したい。

・ A システム・2 ノード・8/20-31 (日単位) =1 申請^{※1}

※1 専用キューの仕様については別途調整する